

## 精神医学：精神薬

40-093 筋弛緩作用の強い薬物はどれか。

1. 抗痲呆薬
2. 抗うつ薬
3. 抗不安薬 (ベンゾジアゼロン) 副作用として抗不安作用、睡眠作用、筋弛緩作用、抗けいれん作用がある。
4. 抗精神病薬
5. 抗てんかん薬

40-094 抗精神病薬の副作用でないのはどれか。

1. 低血圧
2. 歯肉過形成 … フェニトインなどの抗てんかん薬で見られる。
3. 麻痺性イレウス
4. ジストニア
5. パーキンソニズム

41-093 急性ジストニアを生じやすい向精神薬はどれか。

1. 気分安定薬
2. 抗不安薬
3. 抗痲呆薬
4. 抗精神病薬 … 副作用として錐体外路症状(パーキンソニズム、アカシジア、急性ジストニア、遅発性ジスキネジア)、悪性症候群がある。
5. 抗てんかん薬

42-093 気分安定薬はどれか。

1. クロルプロマジン：抗精神病薬
2. ジアゼパム：抗不安薬
3. ハロペリドール：抗精神病薬
4. フェノバルビタール：抗てんかん薬
5. リチウム … 躁病や双極性感情障害で見られる。

42-096 統合失調症の薬物療法で正しいのはどれか。

1. 1日の服薬回数が少ないと服薬遵守を得やすい。少ない方が飲み忘れや服薬に対する抵抗が少ない。
2. 陰性症状は陽性症状より薬物反応性が良い。悪い。
3. 非定型抗精神病薬には錐体外路系副作用がない。少ない。
4. 数種類の薬剤を少量ずつ投与すると副作用が少ない。投与すると副作用が多くなる。
5. 症状が改善したら薬物療法を中止する。は継続する必要がある。  
しても

43-092 幻覚妄想症状に最も関係があると

考えられている神経伝達物質はどれか。

1. アセチルコリン
2. グルタミン酸
3. セロトニン
4. ドーパミン
5. ノルアドレナリン

44-092 抗精神病薬の副作用で治療しても遷延する可能性が高いのはどれか。

1. 突進歩行
2. アカシジア
3. 悪性症候群
4. 全身倦怠感
5. 遅発性ジストニア *抗精神病薬の長期服用で出現することが多く、また遷延しやすい。*

45-P-100 薬剤とその典型的副作用との組合せで正しいのはどれか。

1. 抗うつ薬——不安発作 *抗コリン作用として口渇や便秘、排尿困難など*
2. 抗不安薬——脱力 *筋弛緩作用があるため脱力を生じる。*
3. 抗精神病薬——幻覚 *錐体外路器症状*
4. 抗てんかん薬——錐体外路器症状 *フェニトインの副作用として歯肉増殖がある。その他抗てんかん薬の副作用として、目眩、眩暈、小脳失調などがある。*
5. Parkinson 病治療薬——無月経 *消化器症状、せん奇、アスキネジア*

47-A-100 悪性症候群の原因となる可能性が最も高いのはどれか。

1. 抗うつ薬
2. 抗不安薬
3. 気分安定薬
4. 抗精神病薬 *… 悪性症候群は、抗精神病薬の副作用として、発熱、筋強直、発汗、*
5. 抗てんかん薬 *発汗、意識障害などを起こす。*

48-A-100 抗精神病薬を服用中の統合失調症患者。意識障害、37.5℃以上の発熱、発汗および身体のこわばりが出現した。

最も考えられるのはどれか。

1. アカシジア *… 背座不能と、じっと座におろしず、歩き回る。*
2. 悪性症候群
3. 急性ジストニア *… 頸部が急に硬くなる、眼球が急に上転する。*
4. 遅発性ジスキネジア *… 口をモクモクなど。*
5. 薬剤性 Parkinson 症候群